



新たな防災気象情報について

令和8年度第1回岡山三川水害タイムライン検討会

令和8年 6月29日

岡山地方気象台

5月29日以前の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4＝避難指示、警戒レベル3＝高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）						
警戒 レ ベル	状 況	住 民 が と る べ き 行 動	行 動 を 促 す 情 報 （ 避 難 情 報 等 ）	警戒 レ ベル 相 当 情 報	防 災 気 象 情 報					
					洪 水 等 に 関 す る 情 報			土 砂 災 害	高 潮 害	
					指 定 河 川 洪 水 予 報 （ 河 川 毎 ）	洪 水 害 （ 市 町 村 毎 ）	大 雨 浸 水 害 （ 市 町 村 毎 ）			
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 （浸水害）		大雨特別警報 （土砂災害）	高潮特別警報 （高潮発生情報）	
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~				市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する	4 相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報	
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示		3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報 （土砂災害）	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難		2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報		1 相当					
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報							

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

<警戒レベル4までに必ず避難！>

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

# 新たな防災気象情報（令和8年5月29日から運用開始）

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設しました。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

# 河川氾濫・大雨に関する情報

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、「レベル3 氾濫警報」等の名称で発表します。**これまでの気象台による**市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。**
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川も、大雨に関する情報で一緒に扱います。**

## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				
分類		洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等
河川数		約400河川	河川事務所・都道府県 による水位情報は、これ までどおり発表すること とし、警戒レベルとの関 係は変更しない。	大雨に関する情報で扱 う。
発表主体		河川事務所または 都道府県と気象台		
発表単位		河川ごと		
対象とする 主な現象		外水氾濫		
発表指標		水位（実測・予測）		
情報 名称	5	レベル5 氾濫特別警報	当面は、大雨に関する 情報でも扱う。	
	4	レベル4 氾濫危険警報		
	3	レベル3 氾濫警報		
	2	レベル2 氾濫注意報		
	1	早期注意情報		
		〔 洪水予報河川への 移行を促進 〕		

大雨に に関する情報	
—	
気象台	
市町村ごと	
内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫	
表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）	
レベル5 大雨特別警報	
レベル4 大雨危険警報	
レベル3 大雨警報	
レベル2 大雨注意報	
早期注意情報	

# (参考) 河川氾濫・大雨に関する情報の電文 (例: 6月2日徳島県)

## 河川氾濫に関する情報: 河川ごとに発表 指定河川洪水予報

正規

### かつうらがわすいけいかつうらがわ 勝浦川水系勝浦川レベル3氾濫警報 (警戒レベル3相当情報)

勝浦川水系勝浦川洪水予報 第1号  
令和08年06月02日 22時10分  
徳島県 徳島地方気象台 共同発表

(見出し)  
かつうらがわすいけいかつうらがわ  
勝浦川水系勝浦川では、今後、氾濫危険水位に到達する見込み

(主文)  
【警戒レベル3相当】横瀬基準観測所(勝浦郡勝浦町)受け持ち区間  
これは、高齢者等避難の発令の目安です。勝浦川の横瀬基準観測所(勝浦郡勝浦町)では、02日23時50分頃に、「氾濫危険水位」に到達する見込みで、今後、避難指示の発令の目安である警戒レベル4相当となる可能性があります。勝浦川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、徳島市、小松島市、勝浦郡勝浦町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。

(警戒レベル相当情報等早見表)

勝浦川水系勝浦川レベル3氾濫警報 (警戒レベル3相当情報)			
新着・更新	新着・更新	新着	江田
	基準観測所	横瀬	
	対象河川	勝浦川	勝浦川
	警戒レベル( )相当	3	
新着・更新	水位又は流量	現況	2 レベル2水位超過
		予測	4 3時間後までに氾濫発生のおそれ
新着	徳島市	3	
新着	小松島市	3	
新着	勝浦郡勝浦町	3	

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間内の基準観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。

警戒レベル相当早見表の見方について  
[防災用語ウェブサイト: 早見表]  
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayamiho>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2
	警戒レベル2未満

## 大雨に関する情報: 市町村ごとに発表 大雨警報・注意報

徳島県大雨警報・注意報  
令和8年6月2日 21時36分 徳島地方気象台発表

(注意警戒事項)  
徳島県では、低い土地の浸水や河川の増水に警戒してください。

[気象警報・注意報(府県予報区等)]

徳島県 [継続] レベル3大雨警報

[気象警報・注意報(一次細分区域等)]

北部 [継続] レベル3大雨警報  
南部 [継続] レベル3大雨警報

[気象警報・注意報(市町村等をまとめた地域等)]

徳島・鳴門 [継続] レベル3大雨警報  
美馬北部・阿北 [継続] レベル3大雨警報  
美馬南部・神山 [継続] レベル3大雨警報  
三好 [継続] レベル2大雨注意報  
阿南 [継続] レベル3大雨警報  
那賀・勝浦 [継続] レベル3大雨警報  
海部 [継続] レベル3大雨警報

[気象警報・注意報(市町村等)]

徳島市 [継続] レベル3大雨警報  
大雨浸水危険度  
鳴門市 [継続] レベル2大雨注意報  
大雨浸水危険度  
小松島市 [継続] レベル3大雨警報

大雨警報・注意報で低い土地の浸水と河川の増水の危険をお知らせします。  
※洪水警報・注意報の発表は行いません。

標題に新たに「レベル0」が追加されました。  
早見表で対象市町村の警戒レベルが確認できます。



# 大雨に関する警戒レベル4相当情報の発表基準

## ○ 警戒レベル4相当情報の考え方

- 令和6年9月の能登半島の水害のような甚大な災害をはじめ、内水氾濫については床上浸水が広域に広がる災害は必ず捕捉する。
- 降雨予測の精度に鑑み、局地的な大雨により市町村内のごく一部で危険度が高まるような事象は情報発表の対象としない。



## ○ 以下の3つの現象を対象とし、いずれかの発表基準を満たす場合に、市町村単位で発表

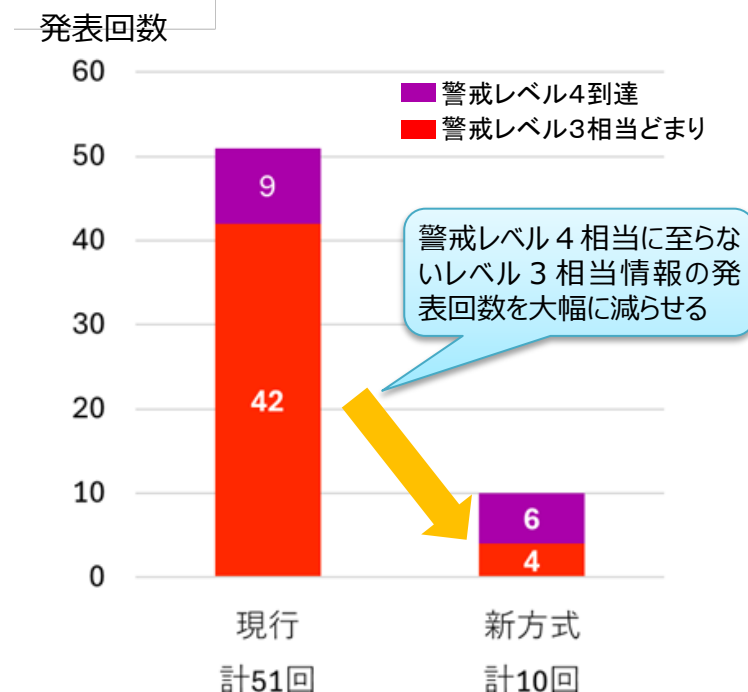
	①氾濫型内水氾濫	②洪水予報河川以外の外水氾濫	③湛水型内水氾濫
対象	・対象エリアを、下記に限定    ・<u>雨水出水浸水想定区域</u>等のうち床上浸水相当の浸水が想定される区域    ・その他、自治体が避難を要する浸水を想定する区域	・対象河川を、下記に限定    ・<u>洪水浸水想定区域</u>を有する河川    ・その他、自治体が避難を要する洪水を想定する河川	・過去に湛水型内水氾濫により重大な災害が発生し、かつ、以下の条件を満たす河川    ➢周辺に浸水想定区域（洪水または雨水出水）を有する河川    ➢その他、自治体が周辺で避難を要する浸水を想定する河川
発表基準	・対象区域内で複数格子(3格子)紫が出現したとき	・対象河川で複数格子(3格子)紫が出現したとき	・現行基準では設定なし (<u>R9以降の運用を検討</u>)

○ 大雨危険警報は全員避難が必要となる警戒レベル4に相当する情報であることから、市町村において避難情報を発令する際に対象を絞りやすくするため、発表対象となるエリア・河川を絞りこみ、対象において複数格子で基準を超過した場合に、大雨のレベル4相当情報を発表する。

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル4土砂災害危険警報**に変更しました。
- **レベル3土砂災害警報**は、発表基準を見直すことで、現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表を大幅に減らします**。
- 今後は、**まもなくレベル4土砂災害危険警報を発表する可能性が高い**状況において、レベル3土砂災害警報を発表しますので、情報を活用いただくにあたりご注意ください。

## 土砂災害に関する情報体系と名称

発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	レベル5土砂災害特別警報
	4	レベル4土砂災害危険警報
	3	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報
	1	早期注意情報



岡山県における土砂災害に関する警戒レベル3相当及び4相当情報の発表回数の比較（令和6年～7年のデータに基づく）

新方式の警戒レベル3相当情報の発表回数は、レベル4相当情報の基準（CL）に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

## （警戒レベル毎の情報に！）

- レベル 5 高潮特別警報を市町村による緊急安全確保発令、レベル 4 高潮危険警報を避難指示発令、レベル 3 高潮警報を高齢者等避難発令のトリガー情報として活用して頂くことを想定して情報を設計。

## （発表基準等の見直し）

- 現在の高潮特別警報の台風等を要因としている発表指標は見直して、レベル 5 高潮特別警報として潮位等の基準を新たに設定して運用。
- レベル 4 高潮危険警報の基準は、その基準を超えると浸水被害のおそれがある状況となる高さに設定。
- レベル 4 高潮危険警報、レベル 3 高潮警報、レベル 2 高潮注意報は、浸水被害のおそれがある状況から リードタイムをとって発表。

（注）現在は高潮注意報で行っている低地での軽微な浸水被害に対する注意喚起は、新たな情報体系では扱わず、今後は高い潮位、大潮等に関する「気象解説情報」で対応

## （高潮予報海岸の導入）

- 高潮予報海岸では、従来の潮位予測に基づく発表に加えて波の打上げ高の効果を加味した水位予測に基づく発表も開始（波の効果も加味することで高潮浸水被害に対し、よりの確な情報発表が可能に）。高潮予報海岸以外では、潮位予測に基づき気象庁が発表。

情報名称	発表タイミング	住民がとるべき行動
レベル 5 高潮特別警報	浸水がすでに発生 or 切迫	ただちに安全確保の行動を
レベル 4 高潮危険警報	浸水被害のおそれがある状況となる 約 6 時間前までに発表	浸水想定区域など、高潮による浸水被害のおそれのある場所に いる者は全員安全な場所に避難
レベル 3 高潮警報	浸水被害のおそれがある状況となる 約 12 時間前までに発表	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
レベル 2 高潮注意報	浸水被害のおそれがある状況となる 約 18 時間前までに発表	避難行動を確認（避難場所やルート、時期など）
早期注意情報	5 日先までにレベル 4 相当の現象が予想される 場合に「高」「中」の 2 段階で発表	災害への心構えを高める



# 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません**。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

## 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、 濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

# 防災気象情報の令和8年5月29日からの主な変更点

## 河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル 5 氾濫特別警報**とし、（発表には、河川管理者の氾濫通報を活用）
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。  
（レベル 4 大雨危険警報を新設）

## 土砂災害

- 警戒レベル 4 相当は、現在の**土砂災害警戒情報からレベル 4 土砂災害危険警報に変更**。
- 警戒レベル 4 相当に至らない**レベル 3 土砂災害警報発表を大幅に削減**。
- レベル 3 土砂災害警報発表時は、**まもなくレベル 4 土砂災害危険警報を発表する可能性大**。

## 高潮

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報を実施**
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

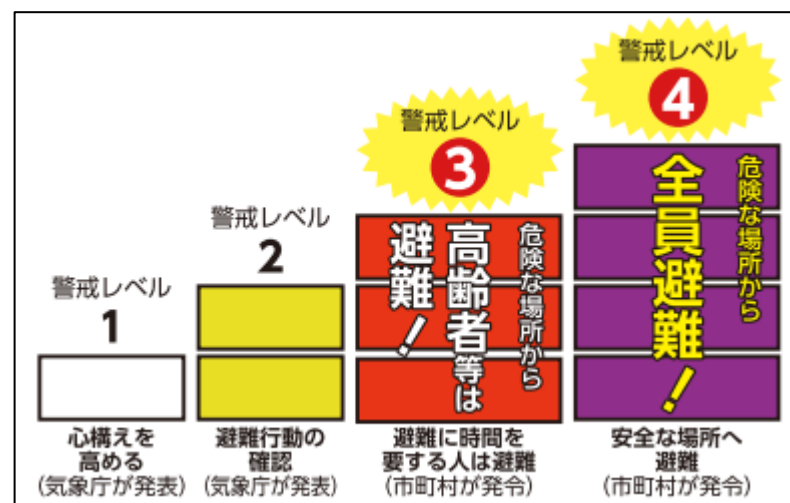
## 共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル 2 では「注意報」、レベル 3 では「警報」と**統一感を持った名称へ**。

# 【参考】警戒レベルとは

- ▶ 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理。  
(平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始。)
- ▶ その後、令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
<b>高</b> 警戒レベル <b>5</b> 命の危険 直ちに安全確保!	既に <b>災害が発生・切迫</b> している状況です。 命が危険ですので、 直ちに身の安全を確保 しましょう。	<b>緊急安全確保</b> (市町村が発令) ※市町村が災害の状況を確実に 把握できるものではない等の 理由から、警戒レベル5は 必ず発令される情報では ありません。
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~		
警戒レベル 4 危険な場所から 全員避難	災害が発生する危険が 高まっています。 速やかに危険な場所から 避難先へ避難 しましょう。	避難指示 (市町村が発令) ※避難指示は、令和3年の 災対法改正以前の避難勧告の タイミングで発令されます。
警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者等は 避難	避難に時間を要する人 (ご高齢の方、障害のある 方、乳幼児等)とその 支援者は危険な場所から 避難をしましょう。その 他の人は、避難の準備を 整えましょう。	高齢者等避難 (市町村が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマッ プ等により、自らの 避難 行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
低 警戒レベル 1	災害への心構えを高めま しょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

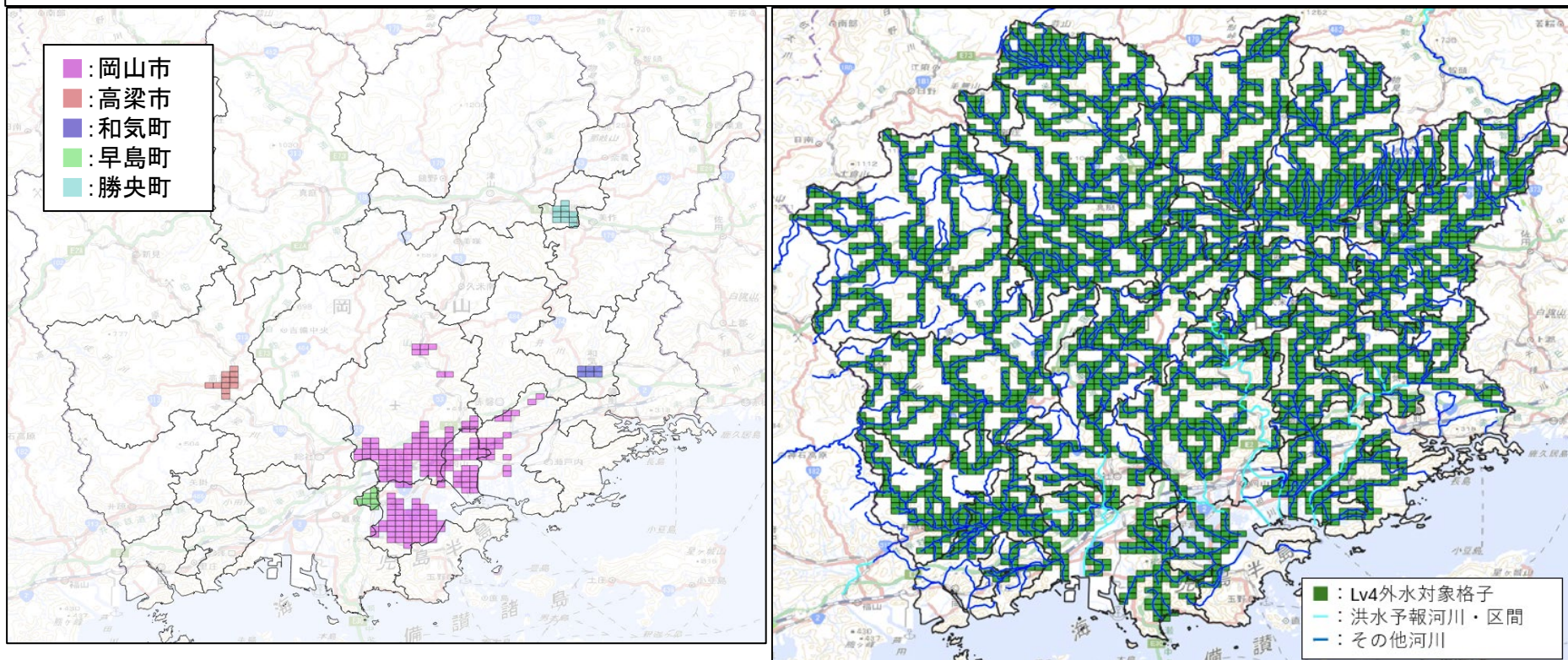


❗ 警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。

「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府(防災担当))より

【参考】レベル4大雨危険警報の対象格子・河川

○ **レベル4大雨危険警報は全員避難が必要となる警戒レベル4に相当する情報**であることから、市町村において避難情報を発令する際に対象を絞りやすくするため、**発表対象となるエリア・河川を絞りこみ**、対象において複数格子（3格子）で基準を超過した場合に、大雨のレベル4相当情報を発表する。



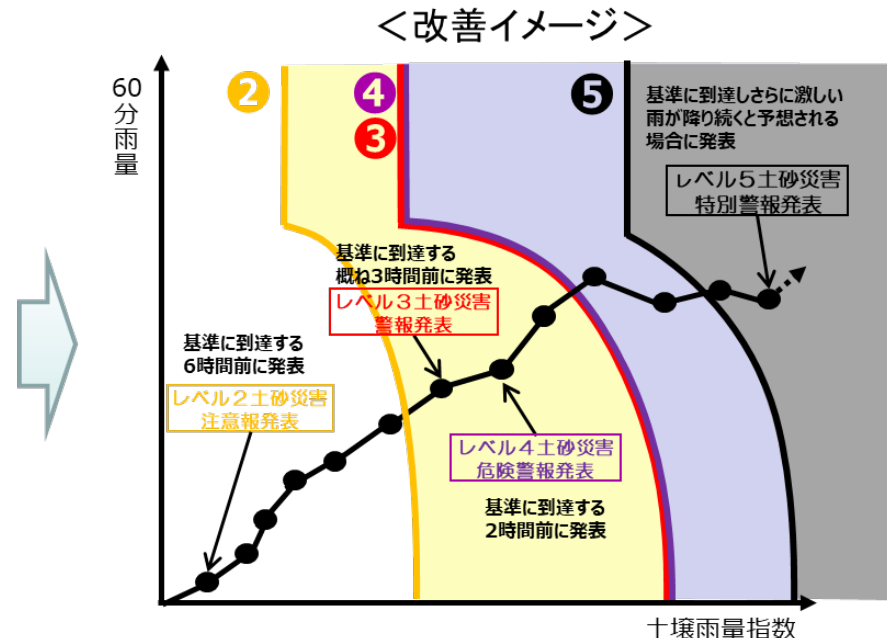
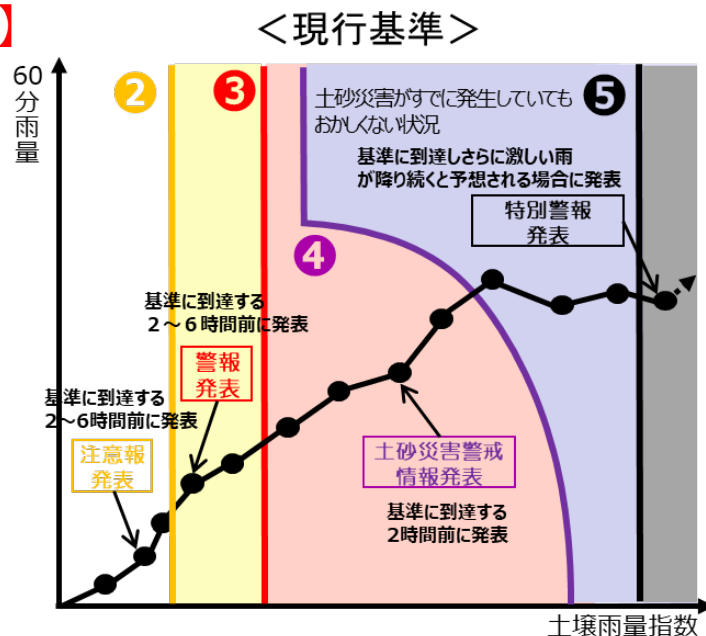
レベル4大雨危険警報・レベル3大雨警報・レベル2大雨注意報の発表回数

レベル4大雨危険警報		レベル3大雨警報		レベル2大雨注意報	
発表回数	発表頻度 (回/年)	発表回数	発表頻度 (回/年)	発表回数	発表頻度 (回/年)
28回	0.9回	361回	11.7回	1707回	55.1回

※基準到達回数は
1991～2021年の再計
算結果での岡山県内
全市町村における延
べ回数。

【参考】防災気象情報の発表基準の改善（土砂災害）

【発表基準】



※図中の黒丸は、60分雨量と土壌雨量指数を1時間毎にプロットしたもの。

- **警戒レベル5相当情報**については、土砂災害の発生確度がより高い状況を示す情報として発表基準を設定します。
- **警戒レベル4相当情報**については、発表基準の設定方法は従来と同様です。今後も基準値の検証を継続的に実施し、適宜改善を図ります。
- **警戒レベル3相当情報**については、警戒レベル4相当情報の基準（レベル4基準）に到達すると予想される時刻からのリードタイムを3時間※確保して発表します。
- **警戒レベル2情報**は、雨による土砂災害への注意を広く呼び掛ける情報として、発表頻度やレベル4基準に到達するまでのリードタイムを考慮しつつ、災害捕捉率や発表頻度が現行の注意報と同等となるように発表基準を設定します。

※：4～6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

【現行の高潮警報・注意報の基準値の設定】

現行の高潮警報・高潮注意報については、市町村等ごとに潮位の基準値を設定して運用。高潮による浸水被害状況や海岸堤防の整備状況等により適宜基準値の見直しを実施。

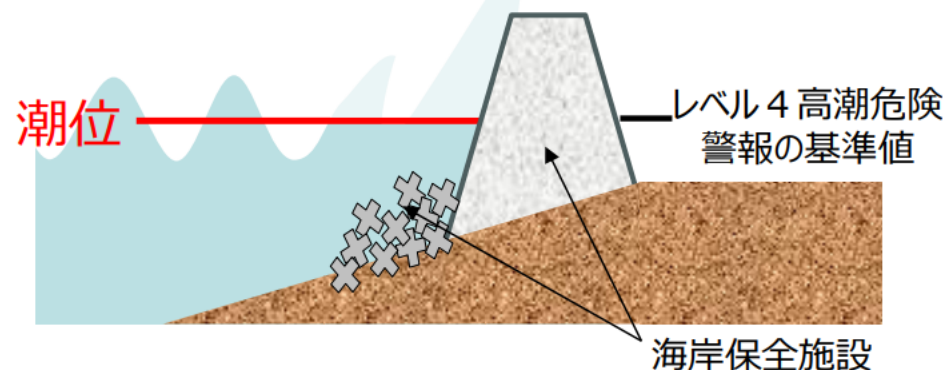
＜高潮浸水想定区域の指定＞

平成27年の水防法改正により、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に浸水が想定される区域を高潮浸水想定区域として指定することが定められ、各都道府県において高潮浸水想定区域図の作成が進行。



過去の高潮による浸水事例、海岸堤防等の最新の整備状況及び高潮浸水想定区域をもとに、高潮による浸水被害のおそれがある地域やその状況となる潮位等の高さを把握し、全国的に高潮警報の基準値を見直してレベル4高潮危険警報の潮位の基準値を設定。

潮位に関する基準



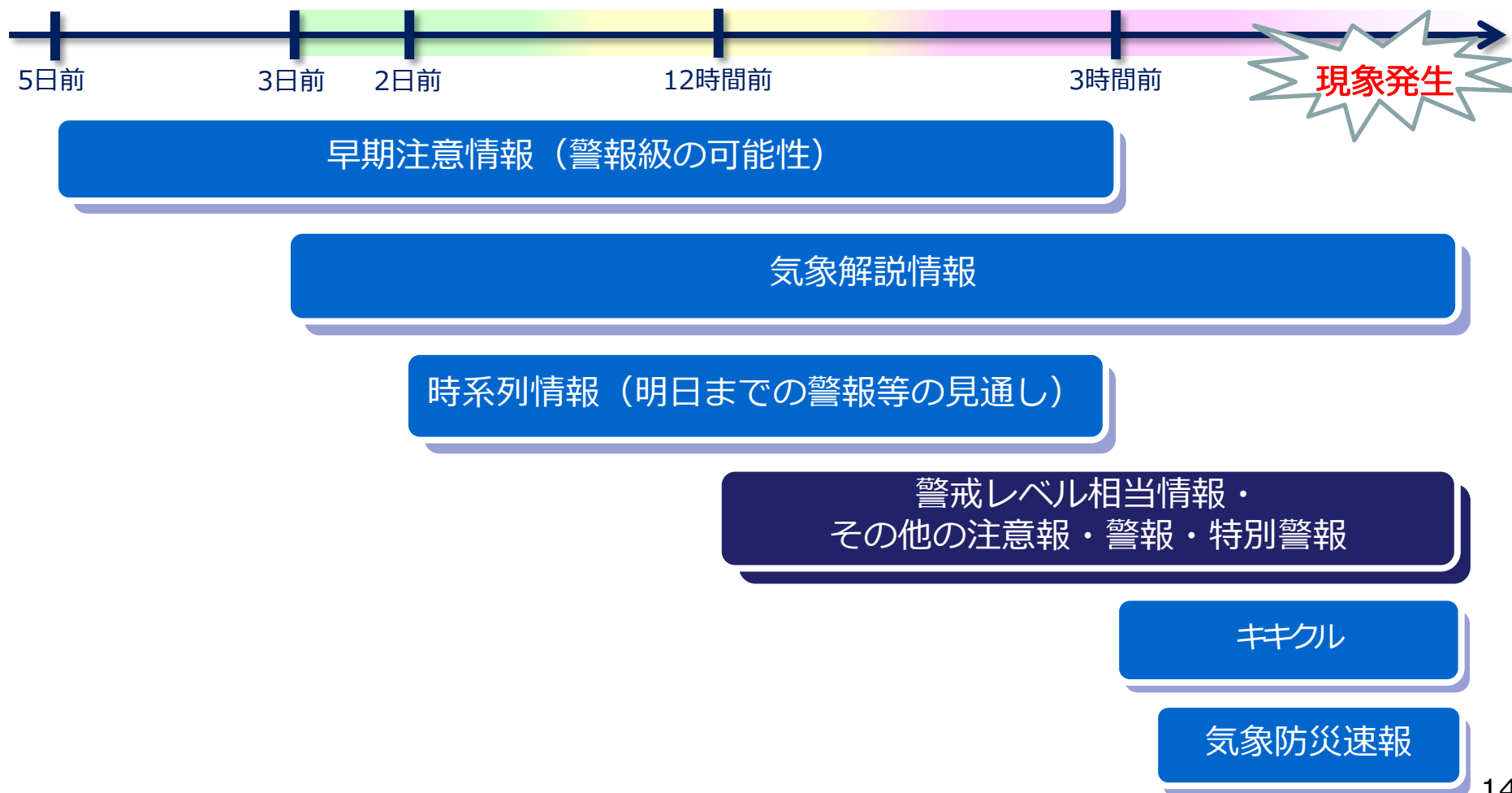
・レベル4 高潮危険警報の潮位の基準値は、潮位がその高さを超えると浸水害が起こるおそれのある高さ（設計高潮位や居住地域の地盤高等）

（参考）岡山県における高潮警報の発表実績（府県予報区単位での発表回数）

年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
高潮警報の発表回数	1	1	0	1	0

【参考】段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表

早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日					3日	4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）

2026年XX月XX日11時00分発表

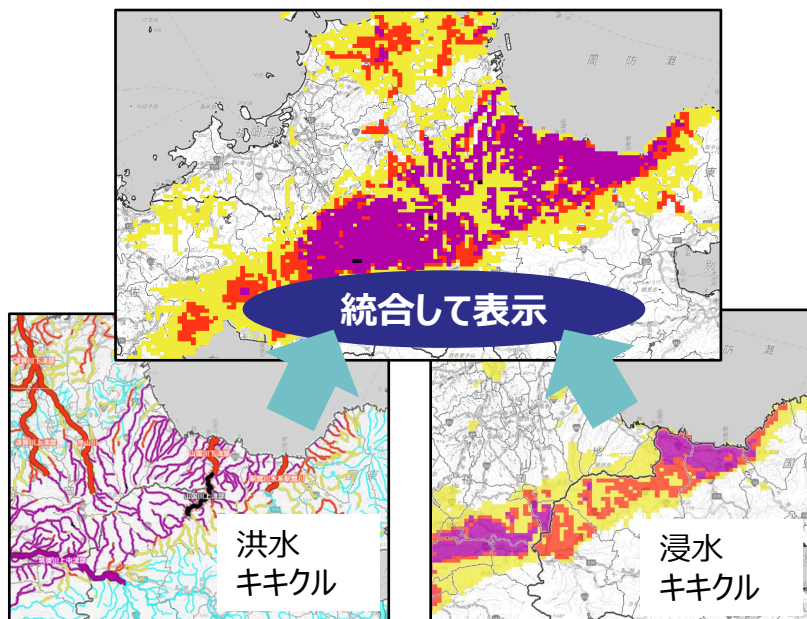
〇〇市	地域	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	30日	備考・関連する現象
1時間最大雨量 (mm)					10	30	50	50	30	20	10				
24時間最大雨量 (mm)					200				200						
大雨															
土砂災害															
暴風 (m/s)	陸上	5	10	15	20	25	25	25	25	25	25	25	15	5	
	海上	10	15	20	25	30	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量 (cm)															
24時間最大降雪量 (cm)															
大雪															
波浪 (m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	8	8	5	2	
高潮		0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5		
雪															
融雪															
濃霜	陸上														
	海上														
着氷															
着雪															
乾燥	実効温度 (°C)			80					90					70	
	最小温度 (°C)			80					90					70	
なだれ															
低気															
霜															

災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

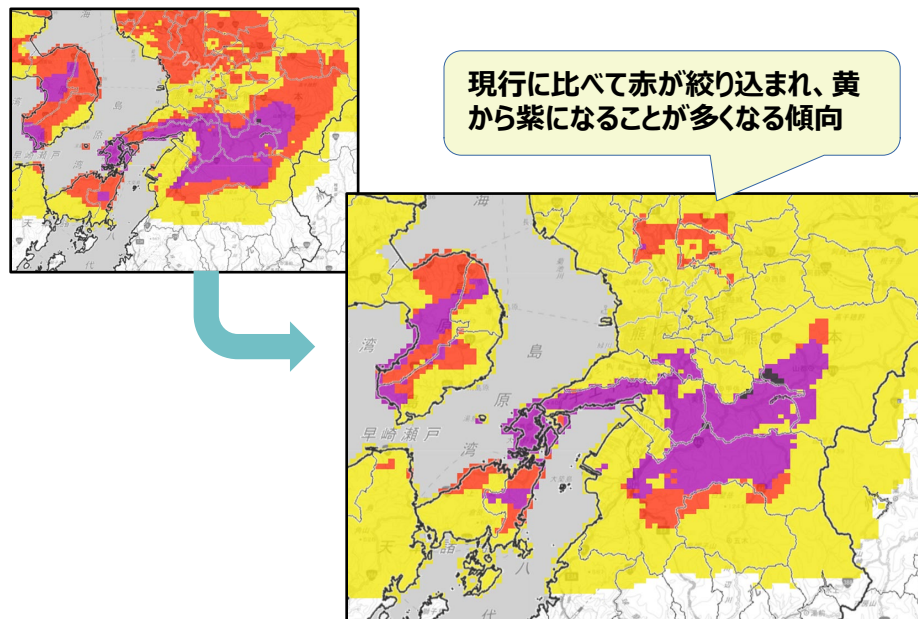
【参考】キキクル

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、危険度が高まっている地域を確認するにはキキクルを活用してください。
- 「大雨キキクル」は、大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「土砂キキクル」は、土砂災害の危険度を表示するものです。表示方法は従来と変わりませんが、以下の特性の変化に留意が必要です。
 - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。
 - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。

大雨キキクル（イメージ）



土砂キキクルの特性変化（イメージ）

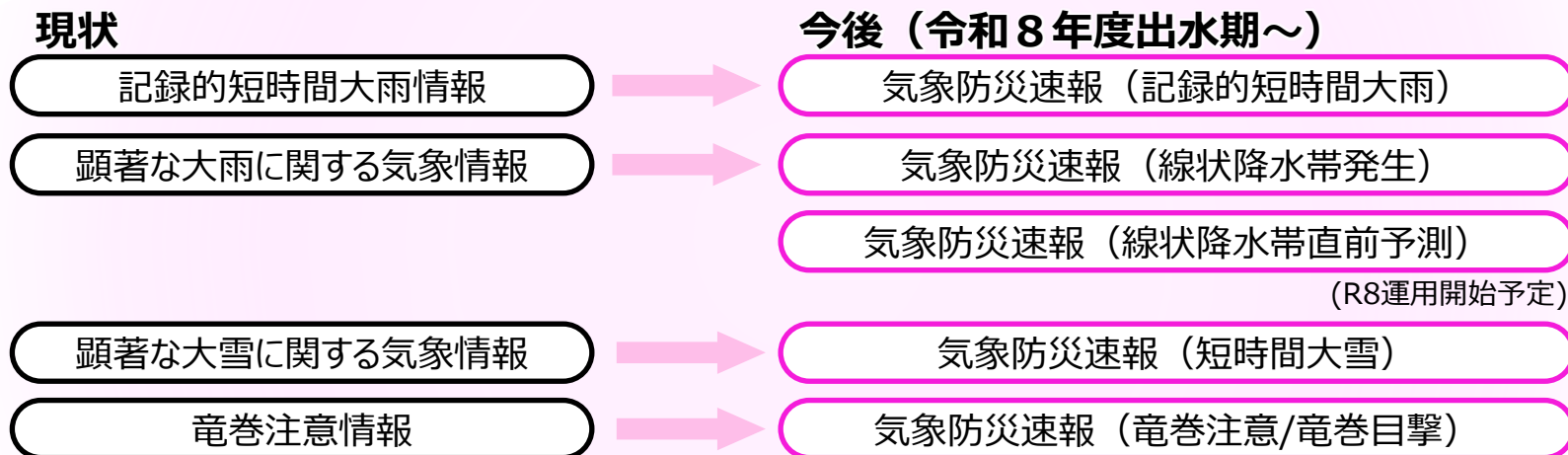


気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能

【参考】気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報（府県単位でのみ発表）



気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報（全国・地方・府県単位で発表）

